SRI BUSINESS INTELLIGENCE CONSULTING
An SRI International Business Partner

FUTURE SQUARE

フューチャー・スクエア

〒102-0082　東京都千代田区一番町2　ﾊﾟｰｸｻｲﾄﾞﾊｳｽ3階　電話:03-3222-6501　FAX:03-3222-6508
URL: http://www.tokyo.sric-bi.com　　発行責任者:徳重桃子

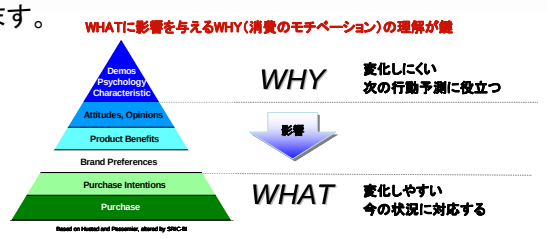
No.83　　2009 月 4 月

セミナー報告:「中国消費者を理解する China-VALS の取り組み」

SRI コンサルティング ビジネスインテリジェンス(SRIC-BI)では、現在中国消費者の価値観を分析するシンジケート・スタディ・プログラム「China-VALS」の開始を予定しております。昨年には、中国の新生代市場観測機構の副総経理の霍虹(Hou Hong)氏をお招きして、「中国消費者市場の現状と課題」と題したプレゼンを中心としたセミナーを開催しました。

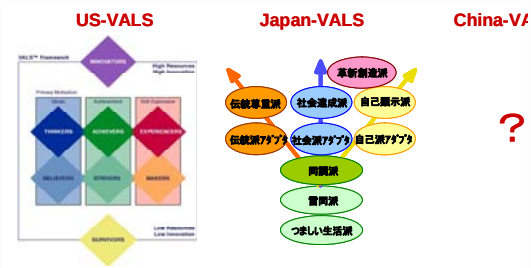
今回のプレゼンテーションでは、中国で最も早くから消費者調査に取り組んで来ている新生代市場観測機構(Sino- monitor International)の調査結果から導き出されている、特に「富裕層」と呼ばれる消費者のプロフィールを紹介して頂きました。特にその中でも「富裕層」の購買行動は、これからの中国市場攻略の鍵となる可能性が高いと考えられるからです。

中国は、1978年に改革開放政策が実施されて30年経ち、ご承知の通り目覚しい経済発展を遂げています。改革開放の1978年から2000年にかけて、政府が市場をコントロールし、政府資本の企業が中心となって活躍していました。この間に「旧富裕層」と呼ばれる多くの富裕者が出現しました。旧富裕層の人たちは51歳から64歳で、職業は製造業、不動産、伝統的な加工業などに従事し、節約志向が高いのですが、好きなブランドはロレックスやベンツなど成功のあかしとなるブランドを好みます。



※ VALS (Values and Life Styles)とは、SRIコンサルティング・ビジネス・インテリジェンス独自のサイコグラフィック・セグメンテーションシステムで、現在米国、日本にて幅広く活用されています。
※VALSは、ロジャーズのイノベーションの理論と心理学の類似性の理論に基づいて作られています。
詳しくは、弊社ホームページ (http://www.tokyo.sric-bi.com/programs/vals/index.html)をご覧下さい。

冒険好きで新しいことにも恐れずに立ち向かいます。2000 年を過ぎると、海外に留学していた人たちが帰国し、創業のラッシュとなり、製造のみならずサービス産業が急速に発展してきました。この層は改革開放時代に成人を迎えた人たちが中心で、世界的な知識経済の中で新たな知識を獲得してきた人たちです。新生代市場観測機構では、この人たちを「中国新富裕層」として、かつての富裕層とは異なるセグメンテーションとして捉えています。彼らは、18歳から50歳と年代が広範にわたりますが、高学歴で専門的な技能を持った技術者や企業の管理職、企業経営者が中心となっています。彼らの好きなブランドは、ディオール、シャネル、アウディなどであり、人生において仕事と楽しみは同等に大切だと考えています。新富裕層は、社会に大きな影響力を持つ消費者と考えられています。



しかし、この新富裕層は年齢層も幅広く、本当に消費するのは誰か、何に消費するのか、広大な中国の地域的差異が彼らの消費行動にどのように反映されているのかなど、彼らにはまだ消費者としての不透明さが残っています。また、およそ10%といわれている新富裕層の90%は、そのほかの人々にいかなる影響を与えるのか。これも注目すべき点です。この新富裕層を顧客としてターゲットとするなら、この中の誰をターゲットとすべきか、十分に考察する必要があるとプレゼンテーションでは結んでいます。

SRIC-BI では、中国人生活者をターゲットとして中国市場を切り開くには、こうした市場理解の現状を踏まえたうえで、中国人生活者を顧客としてさらに合理的に理解するためには、膨大なしかも断片化した刺激的な情報に振り回されるのではなく、各社・ブランドのマーケティング戦略のフレーム(視座)が必要だと考えています。

目まぐるしく変化する中国の市場に取り組まれている方々には、こうした問題意識をお持ちの方が多くいるようです。弊社では、新たに取り組むシンジケート・スタディ・プログラム(複数のお客様で主要な結果をシェアし、個別にも若干の分析を加える調査・分析プログラム)を企画し、中国消費者の理解に努めます。根拠の明確な視座を持った分析に基づいて見出した「生活者の心理」を用いて人々の行動モチベーションを理解し、次の行動を予測する SRIC-BI 独自のツール VALS。今回のプログラムでは、中国市場に特化して、この VALS を用いたマーケティング戦略のフレームを開発する予定です。

【上記の記事に関するお問い合わせ】
SRI コンサルティング　ビジネスインテリジェンス　　電話:03-3222-6505　m@il:mtokushige@sric-bi.com

SRIC－BIからの最近のトピックス

没入感のある仕事場

セカンドライフで一躍有名になったLinden Lab社は、自社の仮想空間であるSecond Lifeを娯楽用途からエンタープライズ市場向けに衣替えし、Rivers Run Red社と共同で「没入感のある仕事場」を作りあげた。企業の協調作業を支援するこの新製品は、Second Life Grid構築と、行動の記録や会議のスケジュール、オンラインチームの管理といった管理業務を標準化し、Webサイトに組み入れている。（Explorer Virtual-Worlds Viewpoints 2008年11月号より）
http://www.sric-bi.com/VWW/VWviewpoints.shtml

バーチャルウォーター

水はますます貴重な商品になりつつあるのに、国だけでなく、企業も消費者も重要な水資源を無頓着に使っているのが現状である。炭酸ガスのラベリングやカーボン・フットプリントと似た考え方で水を管理する「ウォーター･フットプリント」という概念が資源プランナーたちの間で議論され始めている。
（Scan SoC334 「バーチャルウォーター」、D08-2582水資源を再考するより）
http://www.tokyo.sric-bi.com/reports/SoC334.html

三次元IC開発の現状

Explorerの先端シリコンマイクロエレクトロニクス分野では、集積回路の将来に破壊的な影響力を有する開発領域の一つとして、三次元集積回路のシリコン集積回路を挙げ、重要な観察項目としている。この技術の進展は、量子限界に近づき、リソグラフィの限界も見え、また代替材料によるトランジスタ実用化が不十分な中、シリコン集積回路を延命に重要な意味を持つ。(Explorer Advanced Silicon Microelectronics、2009年3月号Viewpointsより）
http://www.tokyo.sric-bi.com/programs/explorer/index.html

スマート・グリッド

エネルギーとコストを節約するために情報技術をもちいて供給者と消費者のあいだの電力伝送をおこなう技術、スマートグリッド。近年再生可能エネルギー源の開発に伴い、各国で分散型発電処理への対応が求められてきているのも、グリッドのスマート化の原動力となる。家電との関係では、センサー、コンピューティング、ネットワーク技術の統合は、エネルギー消費、供給、生産プロセスを最適化するための手段を進化させている一方、分散電源の安全性、品質向上も課題となっている。（Explorer Renewable Energy Technologies 2008年11月号 Viewpoints、Scan 2009年2月号SoC351より）
http://www.tokyo.sric-bi.com/programs/explorer/index.html

弊社では、他にも種々のプログラムを通じてビジネス環境をモニタリングし、年会費を頂きながらレポートを配信しています。プログラム毎にサービス形態が異なります。ご関心をお持ちの方は、弊社サイトにアクセスされるか、直接担当の高内までご連絡ください。
電話：03-3222-6503　mail :atakauchi@sric-bi.com

米国NICのGlobal Trends 2025

米国のNational Intelligence Council（国家情報会議、米国大統領のために中長期予測を行う諮問機関）が最近刊行したGlobal Trends 2025: A Transformed World（原本http://www.dni.gov/nic/NIC_2025_project.html）のレポート作成にあたり、弊社は、科学および技術的な助言を行いました。このレポートの編纂に先立ち、弊社チームは、現在から2025年の間に米国の利益を崩壊させる可能性のある幾つかの技術の進展やそのアプリケーションがもたらす影響について明らかにするプロジェクトを実施し、ユビキタス・コンピューティング、エネルギー貯蔵技術、バイオジェロンテクノロジー、クリーン・コール技術、人間の体力や認知機能の増幅技術等、米国の将来に破壊的な影響力を持つ代表的な技術群を示して提言しています。
（http://www.tokyo.sric-bi.com/newsletter/fs82.pdf）

……

SRIの最新技術紹介

防錆･イージークリーン･印刷に変革をもたらす最先端の表面処理技術

この2月東京ビックサイトで開催された「nano tech 2009国際ナノテクノロジー総合展･技術会議」において、SRIインターナショナルは、現在開発中の最先端の表面処理技術であるプレセラミック･コーティングの発表を行った。この技術は、金属、ガラス及びポリマー基板の処理をはじめ、様々な用途展開が期待されている。

例えば、自動車のブレーキや風力タービンなど、産業用の金属製品の多くは、強固な腐食耐性を求められている。1000時間の塩水噴霧試験に耐え、高濃度酸を事実上通さないSRIのナノスケールのプレセラミック･コーティングにとって、この重機分野は有望な市場と考えられる。

また、パーソナル･エレクトロニクス市場も、表面処理技術の主要マーケットの一つである。新規のディップ･コーティングプロセスを利用すれば、指紋をはじき、カバーガラスによごれがついても、拭けば非常に簡単にきれいになる。現在、エレクトロニクス産業の主要サプライヤ企業が、このプロセスのタッチ･スクリーン電話やPDAへの応用について評価を行っている。

3つ目の主要ニーズは、低価格のフレキシブル回路基板である。SRIは真空系を用いない、ロール･ツー･ロールで直接銅の細線回路を印刷するプロセスを開発した。この技術の商業化のパートナーであるアヴェラテック社は、ポリイミド、粒子充填ポリイミド、液晶ポリマー、ポリエステル及び複合材等、多様な基板に対するコーティングを実証した。このプロセスを用いて、基板材料と抜群の接着性を示す、0.1から18.0ミクロンの厚さの銅のコーティングができる。量産化にも目処がついている。

【上記の記事に関するお問い合わせ】
SRIインターナショナル　担当:大内　電話:03-5211－8511　m@il: souchi@sri.co.jp)